

## 第 153 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 29 年 1 月 27 日 (金) 14:00～16:00

場 所 電気クラブ B 会議室

出席者 委員長 大谷 (日大)  
委員 河村 (アンリツ), 島岡 (産総研)  
白附 (三菱電機), 布施 (電中研)  
幹 事 作本 (日大), 仲嶋 (福山大)  
幹事補佐 今池 (日大), 白井 (日電検)

### 資 料

- 153-1 平成 29 年度 計測技術委員会活動計画三次案
- 153-2 平成 29 年度 研究会開催予定 (三次案)
- 153-3 平成 28 年度 計測技術委員会 活動状況
- 153-4-1 電気学会 研究会企画連絡シート (5 月開催分)
- 153-4-2 電気学会 計測研究会開催案内 (12 月, 2 月, 3 月開催分)
- 153-5-1 平成 28 年電気学会 A 部門論文発表賞 A 賞割当数
- 153-5-2 平成 28 年優秀論文発表賞候補者 (計測技術委員会)
- 153-6 A 部門大会テーマ付きセッションの募集
- 153-8-1 電気学会 基礎・材料・共通部門技術委員会予算 請求書
- 153-8-2 電気学会 基礎・材料・共通部門技術委員会予算 申請書
- 153-9 第 7 回テラヘルツ波を用いた非破壊検査技術調査専門委員会議事録案  
計測技術委員会委員名簿  
活動報告 IM-09  
平成 28 年度第 1 回 IEEE 学生発表会採点表  
2016 年 Chapter 会計報告

### 議 事

#### 1. 議事録の確認

一部修正のうえ承認された。

- ・ P2L14 挙がった. → 挙がった. その結果現状維持となった.
- ・ P2L21 第 1 階 → 第 1 回
- ・ P3L29 平成 28 年 → 平成 29 年

#### 2. 運営委員会報告

大谷委員長より 10 月 18 日に開催された運営委員会について説明があった。

- ・ これまで技術調査専門委員会の最終報告は、技術報告書のみ受け付けたがレビュー

一論文等のその他の形式でも受け付ける雰囲気がある。計測技術委員会としては技術報告書で提出する。

- ・ 新予算方式に関しては進展無し。いずれは技術委員会で収支をプラスマイナスゼロで運営する方向に向かう。

### 3. 平成 29 年度活動計画三次案

作本幹事より資料 153-1 に基づき説明があった。

- ・ 見学会を 6 月から 10 月に変更し、浜松ホトニクス以外の場所も視野に入れる。
- ・ 浜松ホトニクスが無理であれば 4 月に協議する。

### 4. 平成 29 年度計測研究会実施計画三次案

作本幹事より資料 153-2 に基づき説明があった。

- ・ 12 月開催の会場を東京から東日本の地方都市で開催する方向で調整する。

### 5. 平成 28 年度計測技術委員会活動状況

作本幹事より資料 153-3 に基づき説明があった。

- ・ 仲嶋幹事より 2 月開催について説明があった。PEM との合同開催となる。
- ・ 1 月 17 日に開催したテラヘルツ調査専門委員会の人数を 9 名に修正した。

### 6. 電気学会 研究会企画連絡シート

白井幹事補佐より資料 153-4-1 に基づき説明があり、少なくとも 4~5 件の申し込みが望ましいと報告された。

### 7. 開催済みおよび開催予定の研究会について

資料 153-4-1, 資料 153-4-2 に基づき開催済みおよび開催を予定している研究会について確認した。

仲嶋幹事より 12 月開催（福山）の計測研究会、IEEE 総会と IEEE 学生発表会について報告があった。2 月開催（有馬）は PEM との連催となった。研究会の会場費用とアルバイト代の合計で 3 万円まで支出可能。

6 月開催予定研究会の特別講演で謝金を申請しているの、島岡委員、佐山委員で講演者を探すこととなった。

### 8. 優秀論文発表賞候補者

大谷委員長より資料 153-5-1 に基づき説明があった。優秀論文発表賞候補者として上位から A 賞 1 名（堀口）、部門賞 2 名（黒田、飴谷）、辞退者がいた場合の次点（関）で承認された。

## 9. A 部門大会テーマ付きセッションの募集

白井幹事補佐より資料 153-6 に基づき説明があった。

技術調査専門委員会名称と同じようなセッション名にし、テラヘルツ委員と委員外からの発表者を集める。平成 29 年度は実施せず、平成 30 年度実施を目標とする。

部門大会テーマ付きセッションの審議を活動計画三次案の 10 月に追加した。

## 10. 特集解説

大谷委員長より資料 153-7 に基づき電気学会論文誌 A (2017 年 1 月号) に掲載された特集解説について説明があった。

## 11. 技術委員会予算

大谷委員長より資料 153-8 に基づき説明があった。昨年度同様、計測研究会特別講演 1 件分の謝金を申請することとなった。

## 12. テラヘルツ波を用いた非破壊検査技術調査専門委員会について

布施委員より資料 153-9 に基づきテラヘルツ委員会議事録の説明があった。技術報告書の目次案を作成し、担当者について議論していることが報告された。

## 13. 計測技術委員会人事案

大谷委員長より説明があり以下について承認された。

- ・ 4 月より仲嶋幹事を副委員長に、今池幹事補佐を幹事に変更し、幹事 2 名、幹事補佐 2 名の通常体制とする。
- ・ 仲嶋次期副委員長が特集号のゲストエディタを担当する。
- ・ アントン編修委員の後任を 2 月までに決定する。

## 14. IEEE 関係

### ・ 活動報告

仲嶋 Chair より説明があり、河村委員が Secretary に就任し、作本 Treasurer は継続することとなった。

10 万円のチャプター支援費の使途として、特別講演 2 件分の旅費を申請する。チャプター支援費の支払いが滞っているが、支払が可能ならば次年度も学生発表会での特別講演を行い、2 件分の旅費を申請する。今年度に関して支払われないのであれば、IEEE の備蓄から支払う。IEEE の対応が遅いため、仲嶋 Chair の立替金額が大きいため、早めに申請を行い事前に費用が支払われるよう進める。支払が不可能であれば技術委員会で補助を申請する。

会計報告と写真を WEB に掲載することが報告された。

- 学生発表会

大谷 Vice-Chair より学生発表会の採点結果が報告された。発表者数を 8 名から 9 へ修正した。審査結果の計算に誤りがあるため、受賞者の決定は保留し、メール審議とした。3 月末に WEB 上に受賞者を記載し、11 月または 12 月に表彰式を行う事とした。

- 会計報告

作本幹事より 2016 年会計報告が行われた。活動報告の表彰費と会計報告の表彰費が異なるので活動報告の記載を会計報告の額に修正することとした。

#### 次回予定

日 時 平成 29 年 4 月 21 日 (金)

場 所 未定